

伊方町学校再編計画（第二次） 三机小学校区地域説明会

○日時：令和 7 年 6 月 11 日（水）19：00～20：53

○場所：瀬戸町民センター 2 階会議室

○対象：三机小学校区域区長、副区長、住民（参加者 12 名）

○主催側出席者：教育長、教育委員、事務局

○次第

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 伊方町学校再編計画（第二次）説明
- 4 質疑応答、意見交換
- 5 閉 会

○説明内容

事務局より、伊方町学校再編計画（第二次）の概要説明を行った後、今回の説明会の主旨は、計画に沿って再編準備委員会を立ち上げる事についての、理解を得るためのものである事を説明し、質疑応答、意見聴取を行った。

○質疑、意見

（参加者）3校が統合して場所は三崎になるのか。

（町）計画ではそうなっています。

（参加者）計画策定の時に委員がスクールバスに試乗したとの事だったが、冬場や梅雨時等、条件の悪い日に試乗すべき。資料の保護者説明会の意見はいい事ばかり書いているが悪い意見も隠さず書いてほしい。保育所から上がったばかりの子どもは寒い日はバスもいやがるので、子ども目線で考えてほしい。

（町）資料の保護者の意見については出たものを全て記載しています。ご意見のように、子ども目線を大切に、条件を考え統合を進めていきます。

（参加者）乗車時間が倍になるのではないか。

（町）乗車時間の目安として1時間以上とならないように、できれば30分以内となるよう工夫します。出発時間も今の時間より早くならないよう検討します。冬場は、現在も雪で大きなバスが走りにくいときはチェーンを付けた小型のタクシーで送迎するなどの安全な対応をしています。

（参加者）チェーンを付けて走るくらいなら休校にした方がよいのではないか。

（町）タクシーの対応は、よりは安全な対応をとった結果であり、タクシーでも危険と判断した場合は休校としています。

（参加者）保護者が納得しているならよいが、どうしても三崎小に統合するのか。

（町）再編計画検討委員会には保護者、地域の代表も参画し検討した結果、そういう計画となりました。

（参加者）子どもの急な病気等で保護者が迎えに行く時に時間がかかるのではないか。

（町）保護者が他所に勤めていてすぐに迎えに行けないという場合の対応も、今後、検討していきます。現在は三崎小学校には養護教諭ともう1人養護の資格を持った職員もいるので、そういう場合も、ある程度対応はできます。

(参加者) 何故、三机小の子ども達が三崎に行くことになったのか。距離だけを考えれば伊方の方が近いし、保護者は東の方に仕事に行っている人が多い。そういう意見が出ても、教育委員会が主導で進めてしまい保護者は意見を言えないのではないか。保護者は本当に三崎小に行く事で理解しているのか、本音で話し合える場は持てたのか。

(町) 教育委員会主導で進めてはおりません。学校再編検討委員会には様々な立場の20名以上の委員がおり、会議を重ねた結果、こういう計画となりました。

(参加者) 保護者に伊方に行くか三崎に行くかという選択肢は示したのか。

(町) 教育委員会で方向性は一切示さず、委員同士が自由に話し合いを行いました。委員からは「教育委員会が案を示して話し合った方が早いのでは」という意見も出ましたが、全て話し合いで積み上げてこの計画になりました。旧瀬戸町で1つの小学校という議論や、大久と三崎は距離的に近いが三机は伊方の方が近いのではという議論もありましたが、三机地区は足成を除いて、三崎に行くのも伊方に行くのも時間はほとんど変わらないということや、現在、3校が合同で修学旅行や青年の家宿泊研修等の行事を行っている事などもあり、こういう結論となりました。その学校再編検討委員会からの検討結果を受けて、教育委員会で計画を策定する際に説明会を開き、保護者と地域住民の意見も聞きましたが、全体的な方向についてご理解いただきました。また、今日は3校統合の同意をいただくのではなく、そのための準備委員会を立ち上げる同意をいただくための説明会です。準備委員会では保護者や地域の代表等が話し合い、問題点を詰めて、それらに納得できた段階で、改めて保護者と地区に統合することについての同意をいただいて、調印式となります。

(参加者) 統合は止む無しと理解している。ただ保護者達は教育委員会がこういう方針だから仕方ないという考えを持っている人が結構いると思う。意見を言いにくい環境になっていないか。子どもや保護者の正直な気持ちが出されているか疑問である。皆さんの意見が反映できるような会をもっと持ってもらいたい。

(町) 意見が出しやすい環境づくりに努力はしています。保護者の皆様からは色々な意見をいただきました。その上で、この様な方向もやむを得ないという保護者の判断かと思います。今後の準備委員会では、より色々な意見が出やすいよう配慮いたします。三机地区では防災関係も含めて、色々な意見をいただいていますので、それは、反映していきたいと思います。

(参加者) 令和9年度の予定との事なので、あと1年と少ししかない。それまでに色々な事をテスト的にやってもらいたい。そうすれば色々な事が見えてくると思う。統合について反対ではないが、住民目線で色々やってもらいたい。

(町) この後、それぞれの学校区で準備委員会を立ち上げていただきますが、そこには教育委員会は入らず自由に意見を出し合ってもらいます。ただ、要請があれば教育委員会も出席します。九町小学校もそういう形を取っています。

(参加者) 地区内にお知らせとの事だが、広報に掲載してもらえないか。

(町) 計画自体は策定の際に広報に掲載しております。

(参加者) 同意したら責任を取らなければならない。保護者が決めたのならそれでいいのではないかという意見が多いと思うので、同意書は出さない。

(町) 統合に向けての準備を進めてよいかという事を地区の皆さんにお聞きしたいので、その結果として同意をいただきたいと思います。

(参加者) 保護者から三崎小ではなくて伊方小と統合したいという意見はなかったのか。

(町) 最初の説明会の際にはそういう意見もありましたが、諸々の説明をさせていただき、この計画でやむを得ないという理解をいただいています。

(参加者) 3校の統合は決定していないのか。

(町) まだ決定はしていません。今日は統合を話し合うための会を開いてよいか同意をいただきたいという主旨です。その話し合いの結果、みんなが納得しなければ再検討という可能性もあります。

(参加者) ここから三机小までの通学は、朝何時に出て何時に帰ってくることになるのか。自分の子どもが三机小、瀬戸中に通っていたが、朝7時40分に出て帰ってくるのが4時半や5時なので、外で遊ぶ時間がない、と子どもに言われた。

(町) 通学の時間は実際には1時間もかかりません。30分以内を目標としています。

(参加者) 足成便は子ども達を拾っていくので時間がかかるのではないのか。

(町) 足成は直通便を検討しています。30分ほどと思います。朝の始発時間には配慮します。仮に7時前に出なければならないようなら、逆に学校の始業時間を遅らせる事もできます。

(参加者) 始業時間を遅らせれば下校の時間が遅くなるのではないのか。

(町) 時間は学校で設定できるので、休憩時間等で調整できます。

(参加者) 今日の案内に一般の方も参加可とあったが、今日は区の役員以外に何人参加しているのか。周知はどのようにしたのか。PTAの役員にも案内はしているか。

(町) 今回の周知はマイク放送を2回実施しました。PTAについては先日、保護者向けの説明会を実施しています。今日は一般の方も数名参加いただいております。

(参加者) 自分は一般住民で、マイク放送を聞いて来たが、できれば回覧板で回してもらった方がよかった。資料をみたところ統合後も複式学級が解消できないようだが、伊方小に一つにまとめて複式を解消するという意見はなかったか。また統合後の建物の使い道を検討しているのか。

(町) 複式学級は教師の負担が大きいのですが、これは県で教員を配置してもらわなければ解消できません。町では、できるだけその負担軽減をしようと、三机小には教育活動支援員1名と、スクールサポートスタッフ1名を配置しています。統合しても将来的に複式が残る可能性があります。県に要望して複式加配で教員が配置される事があります。また、教頭が学級担任をして複式を解消することもできます。子どもたちに支障がでないよう努力していきます。跡地については、合同準備委員会での議題として話し合います。現状でいうと中々良い活用法が見つからないので、逆に皆さんから色々アイデアをいただきたいと思います。

(参加者) 最終的に小学校を半島の真ん中に持ってきて一つにするという考えはないのか。

(町) 将来的な事は未定です。現計画での小学校2校体制をできるだけ維持する事が教育委員会の方針です。今後、様々な手立てを使って小学校の児童数を増やす努力をしていきます。

(参加者) なぜ、それが大久小、三机小の2校統合では出来ないのか。

(町) それも検討委員会で検討はされましたが、結論として3校統合となりました。

(参加者) 地区の役員は任期が1年なので今後の事は想定しづらい。ただ、子ども達の事を考えた時に、1校になるのであれば真ん中に持ってくるのがよいと思う。

(町) 小学校はしばらく大丈夫ですが、中学校はいずれ1校にすることを検討しなければなりません。ただ、真ん中に持ってくるとなると、スクールバスでの搬送が必要になりますが、現在の生徒数で見ると、伊方中の100人の生徒を動かすのは難しいことです。

(参加者) 瀬戸、三崎の住民は、何もかも伊方に移ってしまうのを心配している。

(町) 住民感情としてはよく分かります。今後、瀬戸地域、三崎地域、伊方地域に何を残すのかという事は、十分検討していく必要があります。

(参加者) 一番納得がいかないのは、なぜ給食センターを伊方に持って行ったのか。

(町) 当時の検討会で様々な事情があったと思われます。

(参加者) そういう意見が前回出たのではないかと思うが、そういう事が周知されていない。

(町) 周知が足りないという事をよく言われますが、広報等に出しても中々見てもらえないし、意見もあまり聞こえてきません。こういう説明会で意見を伺うのが一番よいと思っています。

(参加者) 小学生の子どもがいるので保護者説明会にも参加したが、合同準備委員会が設置されるとしたらどのようなメンバーが選ばれるのか気になる。

(町) 先行している九町小学校の例で言うと、PTA役員、保育所の保護者会長、地区からは九町地区と二見地区から一人ずつ、校長、教頭、そして教育委員とないっていますが、これはあくまで前例なので、今後検討して決定します。

(参加者) 区長は三机と大久の区長になるのか。

(町) 合同準備委員会には、それぞれの校区から1名ずつ代表で出てもらう事を考えています。

(参加者) 合同委員会に区長が参加という事だが、区長は大体、男性なのでできれば女性にも入ってもらいたい。

(町) 九町小の準備委員会は女性が多く、女性目線で色々意見を出してもらっています。

(参加者) 以前の説明会で、子どもの意見を聞かないのかという質問をしたら、子どもが動揺したらいけないので、ある程度決まってから伝えると聞いたが、子どもの権利条約の中には、意見を表明する権利も謳われている。子どもたちがどう思っているかを聞いてほしい。

(町) 小学1年生が統合をどう判断するか、バスの状況や諸々の事柄を説明するのは難しいと思います。また、子ども達は自分の学校に愛着があり、自分の学校はいつまでも続いてほしいと思っています。そのため、ある程度方向性が決まった時点で、子どもなりに出てくる要望を聞いて、生かせるところは生かしていきます。自分の意見を表明する事は大事ですが、根本的な問題を問われると子ども達も辛いと思います。

(参加者) なぜ三崎なのか。例えば塩成地区は伊方の方が近い。

(町) 計画策定の段階で検討した結果です。時間的にも大きな差はありません。

(参加者) どっちに行きたいか聞いたのか。

(町) 保護者はやむを得ないという事で、統合を検討する準備委員会を設置する事に同意しています。

(参加者) 統合と三崎に行くという事は同じではない。

(町) 同じではありませんが、今回の説明は、三崎小学校との統合を前提とした準備委員会を設置する事についての同意をいただいています。

(参加者) どちらに行くか選択肢を広げてあげる事はできなかったのか。

(町) 検討委員会でそういう意見も出ましたが、これまでの経緯や送迎の対応等も視野に入れて議論した結果、こういう計画となりました。

(参加者) スクールバスが対応できないという事は実証したのか。

(町) 現在でも、車両の台数、運転手の人数はギリギリの状況です。三机地区をいくつものに分けてというのは難しい状況です。また、塩成はこちらで大久はあちらと分けるのは、これまで

の旧瀬戸町としてのつながりを切り分ける事になるので、基本的に、これまでの校区を分けてということは、好ましくないという意見がほとんどでした。

(参加者) 確かにそういう思いはあるかもしれないが、大久小、三机小はそういう概念は外した方がよいのではないか。大久小は三崎、三机小は伊方ならバスを増やす必要はない。

(町) 先ほど説明したのは、三机小学校区内で伊方を選ぶ保護者と三崎を選ぶ保護者が両方いた時にそれに対応するバスは無理という事です。

(参加者) 三机小の保護者が半数以上、三崎に行くという事を選んだのか。町の主導で三崎にしたのではないのか。

(町) 町ではなく検討委員会で検討した結果です。現在、保護者説明会も終えて、この計画の方向で検討の承諾をいただいています。今後の委員会の中でどうしても伊方という事になれば、改めて検討しますが、そうすると時間が必要になるので統合は遅れる事になります。

(参加者) 配られている同意書の文面を見ると、3校の統合が決定しているかのように取れる。

(町) 同意書の文面を誤解を与えないような内容に修正して再度、送付します。

(町) その他、ご意見はございませんか。

(町) 無いようでしたら、それぞれの地区でご検討いただき、承諾書の提出をよろしく願います。本日はありがとうございました。